

平成 26 年 1 月 23 日
独立行政法人国民生活センター

消費生活センター等の依頼に基づいて実施した商品テスト結果をご紹介します。

洗濯をしたら異臭がした紳士ズボン

1. 依頼内容

「購入した紳士ズボンを着用前に洗濯したところ、乾いたズボンから異臭がした。再度、洗濯したが臭いは取れなかった。異臭の原因を調べてほしい。」との依頼を受けました。

2. 調査

この紳士ズボンの素材は、商品の表示より、綿、ポリエステル、ポリウレタンでした。

写真 商品外観



まず、相談者からの提供品、その同型品の洗濯前及び洗濯後について、それぞれを新鮮な空気とともにポリエステル製の袋に封入し、袋の中の気体を調べたところ、相談者からの提供品、洗濯前、洗濯後の同型品のいずれからでも、繊維の原料や製造工程で使用した化学物質に由来するものと考えられるシロキサン類、アルデヒド類、炭化水素類、1-オクテン等の成分が検出されました。

次に、袋の中の気体のにおいの強さと快・不快についてモニターに評価してもらいました。

提供品のにおいの強さについては、やっと感知できる程度又は弱いにおいとのおいとの回答と、楽に感知できる又は強いにおいとのおいとの回答がほぼ同数と感じ方には幅がありました。また、においの快・不快については、約3割がどちらでもないとおいとの回答しましたが、約7割のモニターがやや不快であると回答しました。

同型品については、洗濯前よりも洗濯後でにおいが強く感じられるようになるとの評価で、そのにおいをほとんどのモニターが不快と感じていました。

においの種類については、提供品、洗濯前、洗濯後の同型品に共通して「革のような」、「木のような」という回答が複数あり、その他「油臭いような」、「プラスチックのような」、「インクのような」などの回答がありましたが、提供品と洗濯後の同型品については「灯油のような」、「クレヨンのような」という回答もみられました。

袋の中の気体の分析で検出されたアルデヒド類や炭化水素類、1-オクテン等は、モニターが感じた「革のような」、「油臭い」、「灯油のような」といったにおいの原因となっているものと考えられました。

なお、においの強さは化学物質によって異なるため、特定できなかった微量の成分等もおおいの原因となっている可能性が考えられました。

3. 解決内容等

テストの結果を受けた依頼センターのあっせんにより、事業者から購入代金が返金されました。また、原因の一つに製造工程における商品洗浄後の乾燥ムラが考えられるため、今後は工場内での乾燥のチェックなど作業員の教育、指導をしていくとの回答がありました。

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165